

## はじめに

千葉市環境保健研究所は、市民の皆様の健康と安全な暮らしを守るため、保健衛生及び環境保全の分野における科学的・技術的中核機関として、関係機関と連携を図りながら試験検査及び調査研究を実施しております。

平成22年度には、食中毒や感染症発生の原因究明等を目的とした試験検査で、分子疫学的解析結果が疫学調査等の方向性を決定するための重要な情報となり、原因究明や感染拡大の防止に寄与したと考えられる典型的な事例がありました。

1例目は、潜伏期間が長い原因究明が困難とされるA型肝炎ウイルスによる食中毒ですが、患者及び調理従事者の糞便検体からA型肝炎ウイルス遺伝子が検出され、その遺伝子配列が一致したことから、同一感染源に由来する株であることが強く示唆され、市内の寿司店を原因施設とする食中毒と断定された事例です。

もう1例は、外国から帰国した患者が市内医療機関で麻しんと診断され、当研究所で血液検体から遺伝子検出を行ったところ、国内で初めて確認されたタイプのウイルス株であることが判明し、渡航先において感染したことが明らかとなった事例です。

また、市民の皆様の食の安全に対する関心が高まる中、食品による健康被害等の発生に関する保健所への相談件数は依然として高い水準を維持していることから、その科学的根拠となる当研究所への検査依頼件数についても同様であり、加えて、質的にも高度な技術が求められております。

環境分野においても、平成21年度に環境基準が告示された微小粒子状物質(いわゆるPM2.5)の調査を実施しているところですが、今後新たな問題等が生じた場合には、関係機関との連携を密にしながら速やかに対応していく必要があると考えております。

このように、求められる試験検査の内容は年々高度化かつ多様化している中で、当研究所は、職員の後継者の確保、老朽化する検査機器の更新など、多くの課題を抱えております。

しかしながら、この厳しい時期を創意と工夫で乗り越えるべく、職員が一丸となって取り組んでいるところでありますので、皆様方には御理解いただきますとともに、引き続きまして御指導、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年11月

千葉市環境保健研究所  
所長 中台 啓二